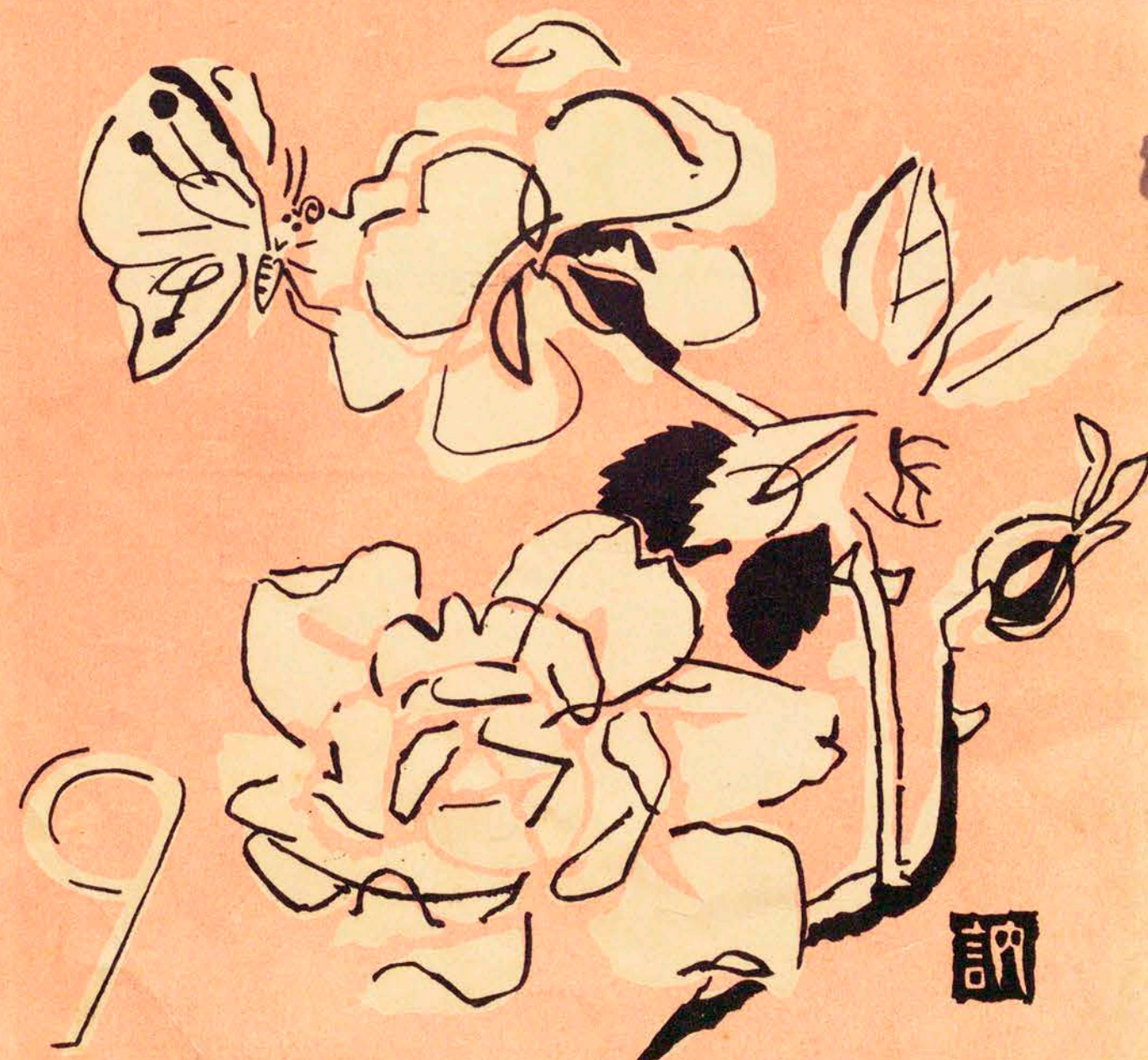


須賀学園生徒会

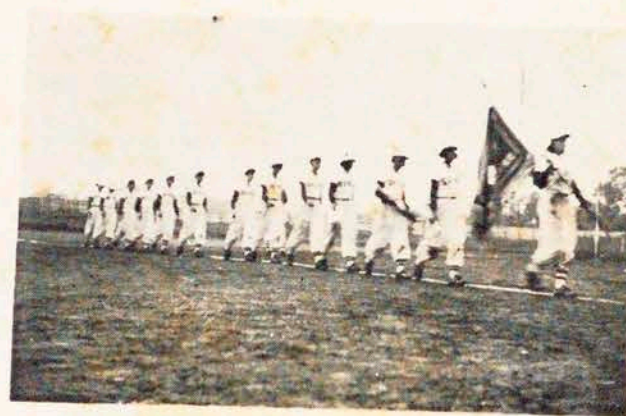
ひめまつ

昭和30年3月10日印刷
昭和30年3月1日発行





第九回国体ソフトボール大会出発(宇都宮駅)



国体入場式(北海道岩見沢市にて)



関東ソフトボール大会優勝旗



関東ソフトボール大会優勝メンバー(国体出場)

ひ め ま つ

第 9 号

＝ 目 次 ＝

巻 頭 言	学校長 須賀友正
北海道寸描	土岐 榮
私達の作文集	
映画鑑賞	
私達の詩集	
私達の歌集	
私達の句集	
弁論大会記録	
私達の作品	
生徒会だより	
昭和二十九年学校行事要覧	
職員住所録	
編集後記	
表 紙	島田 訥郎
グラビヤ	



巻頭言

学 校 長
須 賀 友 正



昭和二十九年の十大ニュースと言われたものは、そのほとんどが悲しく暗く傷ましいものであった。デフレ政策の推進の中に、独立の自主性をかちとろうと志向したわが国の現実には厳しいものであったにわかかわらず、社会人心の立直りはそれに伴わず、不健康と混乱の様相があらゆる面にわたって露呈されたことはまことに遺憾であつたと思われる。

これらの社会悪の問題に関連して、青少年の汚染等も相当なものがあり、識者によつて憂慮される向きも多かったが、幸い本校においては全職員、生徒一体となつて健全な校風の維持発展に努められたことはまことに喜ばしく御同慶にたえない。

本校はかねて懸案の講堂も落成し、施設は一段と充実を見た。目下校舎機能の拡張と移転改築を計画中であるで理想的の調理室も今年度には実現させたい。

これにともなつて生徒会各クラブの活動も大いに活潑に推進され、特に伝統のソフトボール部は団体四回連続出場の榮譽に恵まれ、強豪と戦いよく全国第五位入賞の成績を獲得した。新人を多く擁しながらほんとうによくやつてくれた。

職員中から数名の永年勤続、教育功労者としての表彰者を出し、私もまた産業教育七十周年記念式典に当り表彰され、PTAの皆さん方により盛大な祝賀会を催して頂きその温い過分なお志に対し、思い出すさへ眼頭の熱くなるものを覚える。

「すべての人にはそれぞれの重荷があるし欠点がある。誰れも他人の助けなしでやつていけないものではない。故に私達はたがい慰めや忠告や相談によつて助け合ねばならないのである」トルストイのこの言葉は、われわれの道が厳しくなればなるほど味わうべき言葉である。われわれはこの和協互助の輪の中に円陣をつくつて、全校、PTA一丸となり今年も希望の年として新らしい年に立ち向かいたいものである。



洋裁実習



タイプライティング技術指導



栃木県私学演劇祭



バザー（和裁室）

